



KePa 地域間交流事業

# 誰もが安心できる、活力あるまちづくり

—地域コミュニティプランに、地域の将来像を描いてみよう—

誰もが安心できる、活力に満ちたまちづくりを進めるためには、地域の<sup>きずな</sup>絆をより強め、地域の交流を図るコミュニティ組織の活動を一層推進させることが必要です。

市では、地域におけるさまざまな活動の指針となる地域コミュニティプランの作成、地域が生き生きと活動する力・地域力の進展を支援します。

問合せ／市民生活課(☎232-9151)

## 地域におけるまちづくりの推進

地域におけるまちづくりを進めるためには、地域のことを一番知っている地域住民が、自分の住んでいるまちに対する愛着心・愛郷心を持ち、自らが主体となった地域コミュニティ活動の推進を図ることが必要です。

そのため、市では地域コミュニティプランの作成と、その実現に向けた支援、地域コミュニティ活動拠点の充実を図るなど、活動しやすい環境を整備し、地域主役のまちづくりを目指します。

## 地域コミュニティプラン

地域には、まだ知られていない魅力がたくさんあります。地域にある資源を伸ばし、地域の特色を発信していくために、地域の将来像や課題、その解決に向けた具体的な活動などをまとめた、地域コミュニティプランを作成することが重要です。

市では、それぞれの地域コミュニティ活動の指針となる地域コミュニティプランが、平成26年度までに、すべての地区で作成されるよう支援を行っています。

## 地域

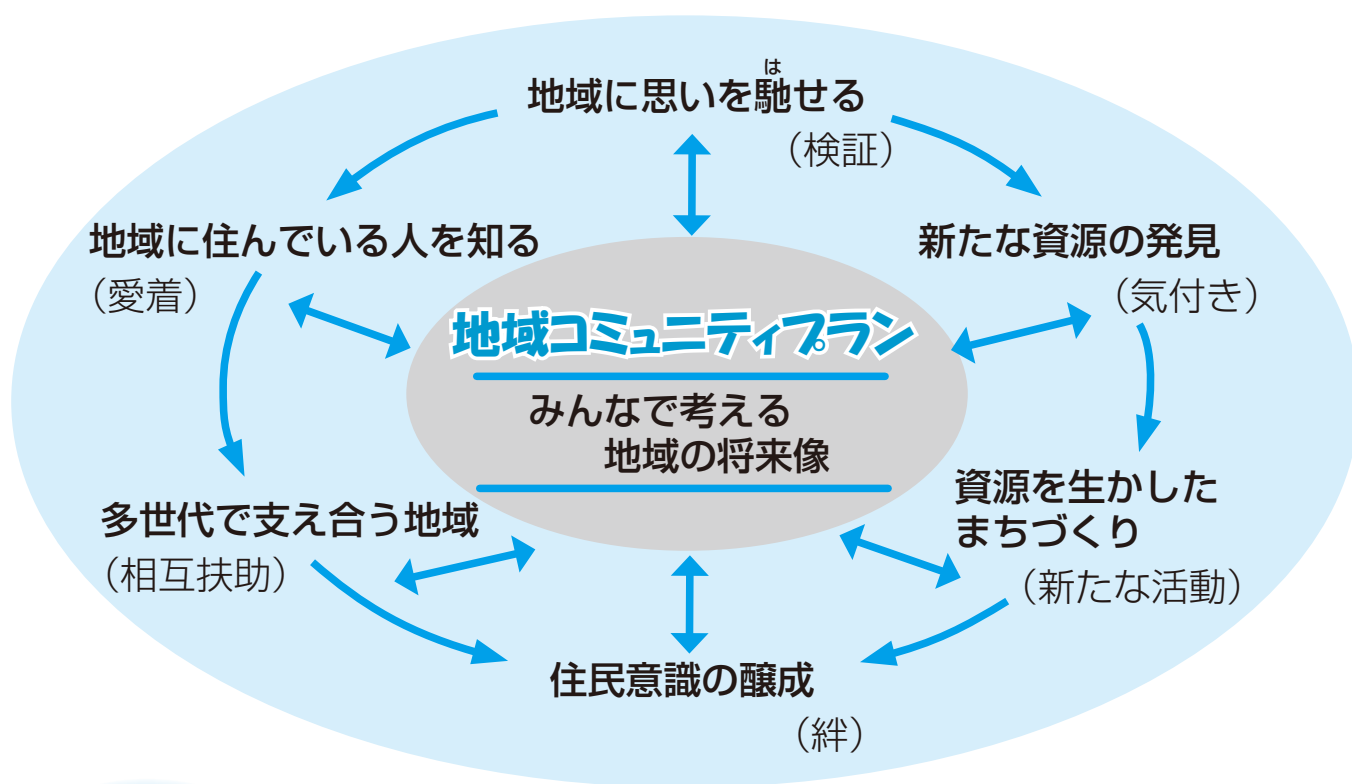
### 地域コミュニティプランの作成

地域が主体となった地域コミュニティ活動の推進に向けた指針として、地域の将来像や課題、その解決策などをまとめた地域コミュニティプランの作成を進めます。

## 行政

### 地域コミュニティプランの作成を支援

地域コミュニティプランの作成を支援するために、地区会に対して、プランづくりに向けた講習会の開催や、職員の派遣、作成費用の補助を行います。



## 地域

### 地域コミュニティプランに基づく、地域活動

地域では、健全な青少年の育成、子育て支援、高齢社会の対応、多世代交流、環境問題への取り組みなど、地域の実情にあった相互扶助機能の復活に向け、多岐にわたる活動が展開されています。その活動をプランにまとめることにより、地域の新たな発見につながります。そこから新しい活動が生まれます。

## 協働

### 地域が主役の市民センターの運営

市民センターの地区会などによる主体的な運営について、モデル地区による実施などの検討を進めるとともに、行政における問題・課題の整理を始めます。

## 国田地区



宮田静さん

### 国田らしい事業を展開

市内の各地区に先駆けて、平成23年3月に地域「コミュニティプラン」住みよい国田のまちづくり計画」を策定した国田地区。自然豊かな地域の特性を取入れました。

プランでは、地区内に生息しているホタルをみんなで大切にし、ホタルが舞うきれいなまちづくりを進めようと、多くの皆さんが、美化運動や清掃活動を積極的に行っていきます。

また、国田地区の重要な資源の一つである七ツ洞公園。たくさんの人たちに遊びに来てもらおうと、市と連携し、フラーフェスティバルの開催も予定しています。

その他に、地区間の交流を深める事

### 地域に密着したプラン

業を展開していることも大きな特徴です。三の丸地区の子どもたちを招待し、地域の子どもたちと一緒にいう農作業は、自然とふれあうことができるよい機会です。それぞれの地域の子どもたちが一緒に取り組むことで、地域の枠を越えた交流を図ることができます。

国田地区自治実践会の会長、宮田静さんは「お互いが助け合い、国田地区に住んでよかった、住んでみたい、と思ってもらえる地区にしていきたいです」と話します。地域「コミュニティ活動の推進のためには、地域の人たちが仲良くしていくことはもちろんですが、郷土を愛する心を持って、自らが主役となって地域づくりをすることが大切です。

活性化を図り、多くの人に愛されるようなまちづくりを目指している国田地区。このプランがより地域の人たちの生活に根付くように、検討委員会を立ち上げて、今後、年次、中・長期それぞれの実施計画を作っていく予定です。

### 住みよい国田のまちづくり計画

- ・ 共に楽しむふれあいのあるまちづくり
- ・ 楽しく生きがいのあるまちづくり
- ・ ホタル舞うきれいなまちづくり
- ・ 安全・安心なまちづくり
- ・ 生き生きと暮らす福祉の充実したまちづくり
- ・ コミュニティを高めるまちづくり

農業実習体験では、国田地区と三の丸地区の子どもたちが、一緒に収穫を祝いました







## みんなの意見を取入れたプランにしたい

# 堀原地区

住みよいまちにするために、  
意見を出し合う委員会の皆さん

### 将来像を描いたプランづくり

平成24年度内の第1次堀原まちづくりプラン策定を目指している、堀原まちづくりプラン策定委員会。委員長の高畑健児さんは「堀原地区の特徴を活かして、安心と住みよさが実感できるまち、地域でふれあい、助け合い、支え合えるまちにしたい」と話します。

今年3月の策定委員会発足に先立ち、10回以上にもわたり検討会を実施。地域コミュニティの先進地への視察も行うなど、堀原地区の将来像を思い描いてきました。

堀原地区でも、少子高齢化や核家族化が進み、人と人の結びつきが希薄になりつつあります。そのため、子育てにやさしいまちづくりの一環として、経験豊富な高齢者が、育児相談や子ども



高畑健児さん

も遊びに積極的にかかわることで、子育てしやすい環境を整え、世代間の交流が深まることを目指しています。

また、地域の一大イベントである「堀原火の国まつり」。みんなを守っていくために、和太鼓の演奏を堀原小学校のクラブ活動に取入れてもらうなど、後継者の育成も行います。

### 多くの意見を反映

地域の実情を反映したプランとするために、若い世代の人たちにも委員会のメンバーとして参加してもらっています。自分たちが住んでいる地区をどうしたいのかは、それぞれの世代で違ってきます。幅広い年齢層で構成することで、いろいろな視点から意見を出してもらおうことが大切です。

これから委員会の皆さんによって策定される堀原まちづくりプラン。地域の皆さんが笑顔にあふれ、住んでよかったと思えるまちづくりを目指します。



堀原火の国まつり

地域コミュニティプラン  
研修会の講師を務めるなど、  
プラン作成を支援しています



常磐大学准教授  
砂金祐年さん

近年、「地方の時代」と言われています。しかし、地方といっても、県や市町村といった行政だけが主役なのではありません。ますます多様化しつつある現代社会においては、地域に住む住民自身が、自分たちの地域の課題に対して積極的に取組むことで、それぞれの地域に合ったまちづくりが可能になります。そのための指針となるのがコミュニティプランです。

コミュニティプランでは、自分たち地域の誇るべき文化や伝統を再発見し、現在行われている取組みを調整することから始まります。そして、これから行わなければならない取組みは何か、どんな地域を目指すのかの方向性を、誰の目にも明らかにできるようにまとめる必要があります。いわば、地域の過去、現在、未来を繋ぐ見取り図と言えるでしょう。こうしたコミュニティプランを、住民自身が作成し、地域住民みんなで共有することで、住民が一丸となって理想の地域を目指すことができるのです。